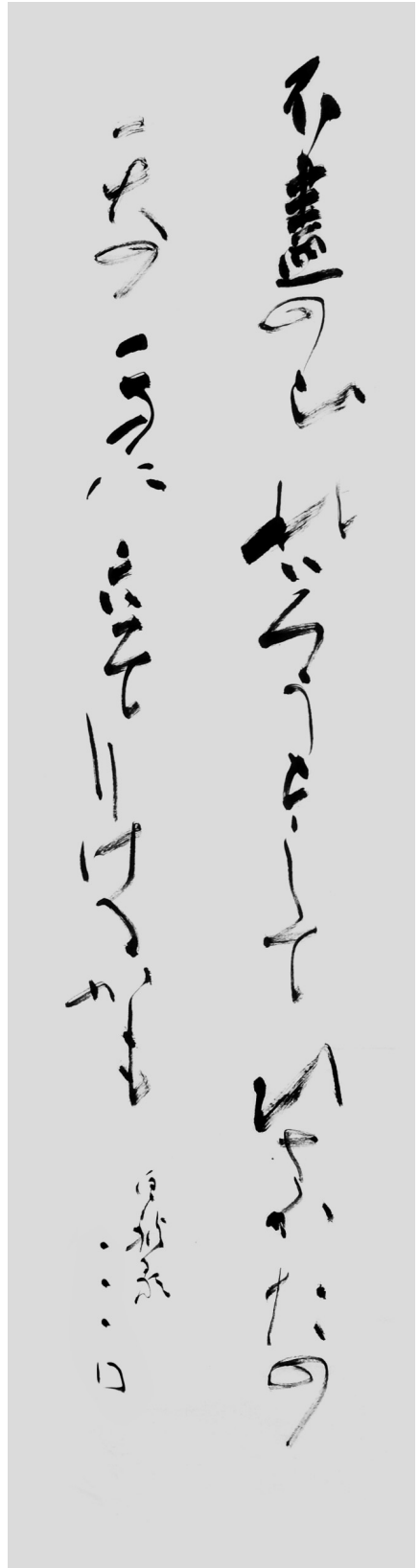


1月25日正午必着

明石春浦先生書



不尽ふじの山やまれいろうとしてひさかたの天てんの一方いっぽうに立たてりけるかも (北原白秋)

富士山は玲瓏と麗しく輝きながら、
大空の一方に聳え立っていることだ。

明石幸子書



高僧こうそう本ほん性せい竺しやく
新年しんねん芳草ほうそう遍あまねく

開士かいし舊きゅう名な林りん
終日しゅうじつ白はく雲うん深ふか

一去ひとたじ春しゅん山さん裏うち
欲ひかんとした下たが徇つて微さらん官とほつ去す

懸知せんち訝げん此こ心しん
懸知けんち訝げん此こ心しん

(劉長卿)

菅井松雲先生書



雲は軽やかに、色はいよいよ暖かそうに、草は緑を濃くし、寒さにとだえていた朝のおりもただよい始めた。山の荒地の寒さや晦さも終り、園の沼にも朝の光のかがやきがうるおう。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

東郊迎新春_二(文徵明)

東郊新春を迎う

初春を野辺に迎える。東は春の意味。

千樹宮牆柳 萬朶道旁花
折柳在儂手 花飛到誰家

(許虬)

千樹宮牆の柳 万朶道旁の花
柳を折って儂が手に在り 花飛んで誰が家にか到らん

(蕭綱)

蕭綱

家の周りの垣根にたくさんの柳があり、道ばたの多くの枝には花が咲いている。柳の枝を折ると風に吹かれて花が飛んでゆくが、さてそれはだれの家に落ちるであろう。

晚霰飛銀礫 浮雲暗未開

晚霰銀礫飛ぶ 浮雲暗く未だ開けず

入池消不積 因風墮復來

池に入れば消えて積らず 風に因りて墮ち復た來る

思婦流黃素 溫姬玉鏡臺

思婦流黃の素 溫姬玉鏡臺

看花言可插 定自非春梅

花を見て挿す可しと言うも 定めて自ら春梅に非ざらん

墨の香の殊に匂ひて 初硯 (中川喜久榮)

半紙部規定課題A

1月25日正午必着

無 翻
書 致
久

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

1月25日正午必着

行書

翻致久
無書

隸書

翻致久
無書

明石春浦先生書

翻致久
無書

翻致久
無書

草書

行草書

世の中はいったいどうなっているのだろう 東西にはるか離れて過す私たち
いつもすぐにも会えるかと思いつながら かえってながく便りもないということになってしまっ
田の麦は深く茂って雉をかくし 淮河の苔むす岸辺、水浅くして魚が見えている
懐しく思慕しながら会うことができないままに あのさやかな月が幾たび満ち欠けたことか

寄友人一

張 蟻

世道復何如
東西遠索居
長疑即見
面翻致久無書
旬麥深藏雉
淮苔淺露魚
相思不我會
明月幾盈虛

友人に寄す

張 蟻

世道 復た何如
東西 遠く索居す
長に疑う 即ち面を見るかと
翻つて致す 久しく書無きを
旬麥 深く雉を蔵し
淮苔 浅く魚を露わす
相思えども 我と会せず
明月 幾たびか盈虚せし

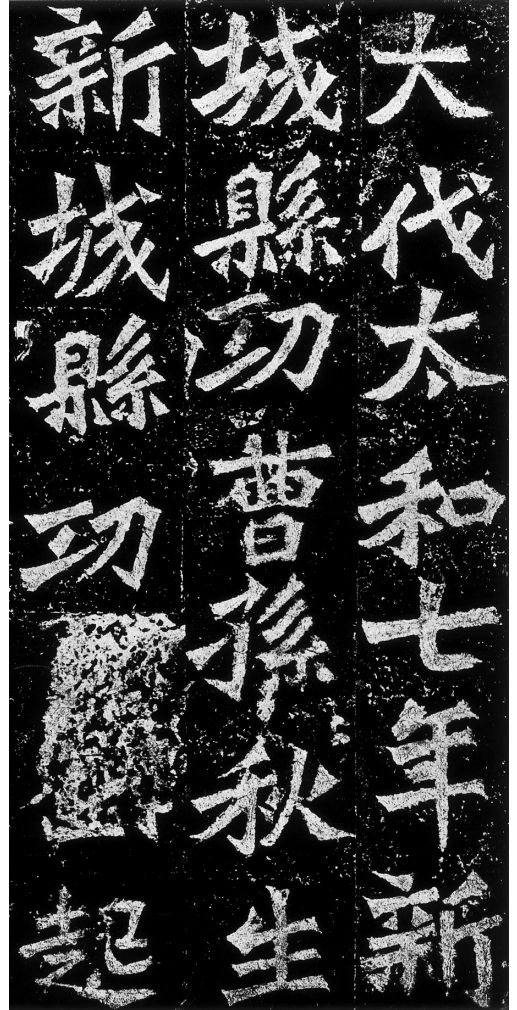
(出典)

朝日新聞社刊
「三体詩」下より

1月25日正午必着



大伐太和七(年)



雨宮春聲先生臨書

北魏・孫秋生劉起祖二百人等造像記

中国各地には数百もの石窟寺遺跡が散在しているが、なかでも群を抜いて規模が大きいのが甘粛省の敦煌・山西省の雲崗そして、河南省の龍門石窟である。石窟寺は山岳を掘削して洞窟をつくり、ここに仏像を刻し安置した仏教施設であり、さらにその由来を壁に刻したものを造像記とよんでいる。

龍門石窟は河南省洛陽の南約十三キロメートルの龍門にあり、伊水をはさんで東西に石灰岩の岩山が対峙している。北魏王朝の孝文帝が洛陽に遷都(四九三)するとともに、北方の民族臭を払拭することを目的に、漢化政策の一端として龍門を掘削させたのを最初とし、以来何百年もの長期にわたり無数の石窟の造営が行われ、随・唐を経て五代・北宋までおよんでいる。それにもなう造像記の数も、文字の識別し得るもので三千種以上もあるといわれている。そのうちおよそ三百種ほどのものが北魏刻とされており、北朝の書をうかがう資料として大変貴重なものである。古来、そのなかの書法のすぐれたものを選んで龍門二十品とよんでいる。

この孫秋生造像記はその二十品のうちの一つにあげられ、龍門石窟最古の古陽洞のなかにある。緊密な構成、鋼のような鋭い線質、えぐる如き転折。結構法とともに起筆から終筆にいたるまでのゆるぎない力強さを学びたい。

(春濤)

大伐太和七年、新城
 城功曹孫秋生、
 新城功曹劉起(祖)、

大伐の太和七年、新城
 城功曹孫秋生、新
 城功曹劉起(祖)



ばんぶつこうきをしようす
萬物生光輝
（古樂府）
春になって万物が生き生きとして来た。

△做書参考▽ ※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。



大伐太和七年、新城縣功曹孫秋生

1月25日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

ふ
富

がく
岳

中学一年



菅井松雲先生書

けい
慶

が
賀

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

年頭

ねん

とう

小学五年

榎戸春龍先生書

宝船

たから

ぶね

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月25日正午必着



へい
平

わ
和

小学三年

藤田幸春先生書



はつ
初

に
荷

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

ふ く 小学一年・幼年



森戸春濤書

来 る 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

草がゆをたべる	一月七日の朝は七
---------	----------

小学五年

祖母と皇居の参賀の 様子をテレビで見た

小学六年

新たな希望をいだく	初日の光に輝く海に
-----------	-----------

中学

元日の朝神社に参拝し て家族の健康を祈る

一般(級位)

山ふかみ春ともしらぬ松の戸に たえだえかかる雪の玉水	山ふかみ春ともしらぬ松の戸 にたえだえかかる雪の玉水
-------------------------------	-------------------------------

一般(段位)

山ふかみ春ともしらぬ松の戸にたえだえかかる雪の玉水(式子内親王)

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

で	か
	ぞ
は	く
つ	
も	み
う	ん
で	な

幼年

る	こ
く	と
げ	し
ん	も
気	
よ	あ
く	か

小学一年

つ	元
も	日
う	の
で	あ
に	さ
い	
く	は

小学二年

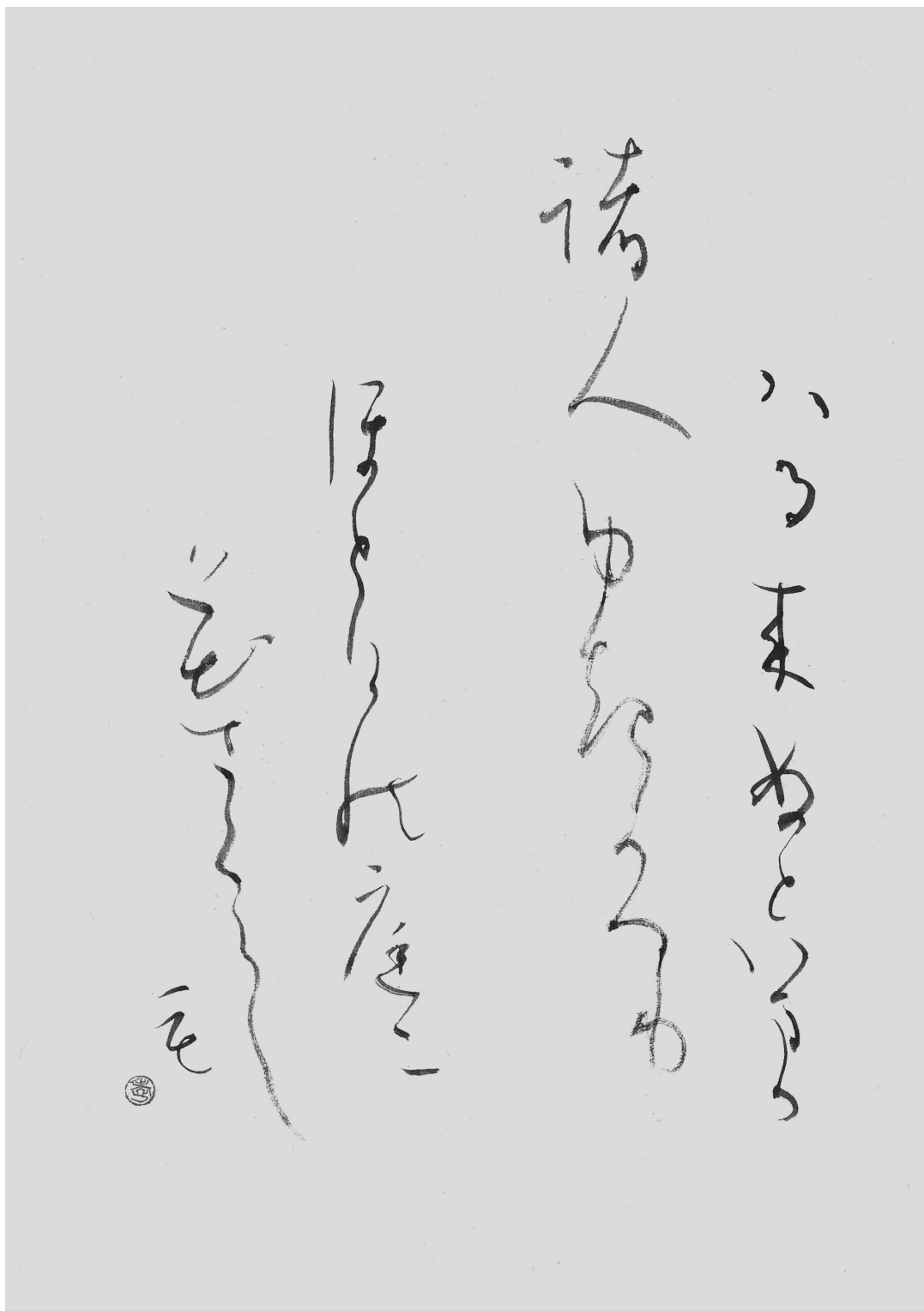
じ	お
よ	正
う	月
を	に
も	
ら	年
う	が

小学三年

初	正
も	月
う	は
で	家
に	ぞ
行	く
く	で

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

八はる来ぬと いまか諸人^{もろびと} ゆきかへり ほとけの庭に 花さくらしも (會津八一)
 万可^ま 起可^{おき} 利^り 介能^{すけのり} 二^に 毛^も

(冬は去り春が来たのだと、いまこそ善男善女たちが参詣に行き来する)
 (み寺の庭には、桜の花が美しく咲いているらしい。)